

ペットボトル貨物の海運モーダルシフト

協議会名:空ペットボトル広域物流連携協議会

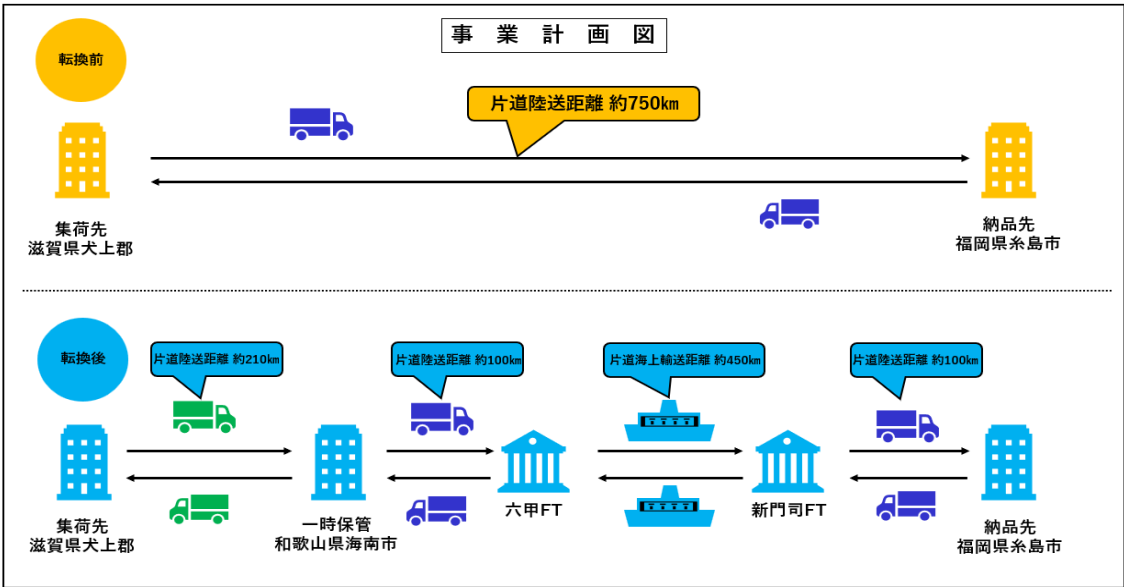
協議会構成員

北九州市、株式会社伊藤園、北海製罐株式会社、九星飲料株式会社、大十株式会社
鐵伸運輸株式会社、阪九フェリー株式会社、北九州商工会議所

【事業実施背景】近年の物流問題としてドライバー不足、物流コストの上昇、CO2排出量の削減、容積制約による積載効率の低下、長距離輸送によるドライバーの拘束時間の増大、2028年トラック適正化二法の施行を見据えて、阪九フェリーへのモーダルシフトにより、ドライバーの拘束時間の削減、輸送の安全確保、積載率の向上や環境負荷削減に取り組む。

事業内容

Point モーダルシフトを推し進めるにあたり、関西圏から九州圏へ空ペットボトル輸送を阪九フェリーの海運に転換し、CO2排出量の削減、ドライバーの労働条件も改善。自治体、経済団体、事業者間で物流施策を地域振興策や環境政策と連動させ、輸送スキームを構築する。



想定事業実施効果

- 長距離の陸送による関西圏から九州圏への輸送をモーダルシフト輸送に転換し近年の物流問題に対し輸送方法の確立
- 本事業によるモーダルシフト輸送の目標値は以下の効果を想定。KPIは環境、労働、輸送効率の3つの観点から下記の目標を立てて取り組む。

